



癒

いやし

編集・発行 さぬき市民病院

香川県さぬき市寒川町石田東甲387番地1

☎ 43-2521 Fax 43-6469

Vol.27



令和8年度を迎えるにあたって…

さぬき市病院事業管理者・市民病院長 石井 知也(いしい ともや)

令和8年度を迎えるに当たり、医療業界を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いています。少子高齢化の進行、医療需要の高度化、人材不足、物価・エネルギーコストの上昇など、病院経営に求められる舵取りはますます難しくなっています。

そのような中でも、私たちは地域に必要とされる医療機関としての使命を果たし続けていかねばなりません。当院のビジョンである『市民のためのトータルヘルスケア』は、単に病気を治す医療にとどまらず、予防・診断・治療・リハビリテーション・在宅支援に至るまで、市民の健康を包括的に支えるという決意を表したものです。急性期医療の充実はもとより、地域の医療機関や介護施設、行政との連携を一層強化し、切れ目のない医療・介護体制を構築していきます。

令和8年度は、第三者機関である日本医療機能評価機構による『病院機能評価』の受審を予定しています。病院機能評価は、医療の質や安全性、組織運営体制を客観的に見つめ直す重要な機会です。受審そのものが目的ではなく、評価のプロセスを通じて課題を明確にし、改善を積み重ねることこそが本質です。全職員が一丸となり、日々の業務の質向上に取り組むことで、より安全で信頼される病院づくりを進めたいと考えています。

また、昨年多くの市民の皆さまにご来場いただき好評を博した『さぬき市民病院祭』も、当年度も開催を予定しています。病院祭は、地域の皆さまに当院の取組を知っていただくとともに、医療をより身近に感じていただく貴重な機会です。健康相談や体験コーナーなどを通じて、市民の健康増進に寄与するとともに、地域との絆を一層深めていきます。

さらに、1月には『電子カルテの更新』を予定しています。医療DX推進の要となる今回の更新は、診療情報の共有強化、業務効率の向上、データ活用による経営分析の高度化を実現する大きな転換点となります。新システムへの円滑な移行を図るとともに、職員教育を徹底し、患者サービスの向上につなげていきます。

厳しい経営環境の中にあっても、私たちは変化を前向きに受け止め、組織としての質を高め続けます。『市民のためのトータルヘルスケア』の実現に向け、病院機能評価への挑戦、地域とつながる病院祭の開催、そして電子カルテ更新によるDX推進など、一つ一つの取組を着実に積み重ねていきたいと思っております。令和8年度も、職員一人ひとりが誇りと責任を胸に、地域に信頼される病院として持続可能な運営と医療の質向上に全力を尽くす所存ですので、ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

さぬき市民病院祭 2025

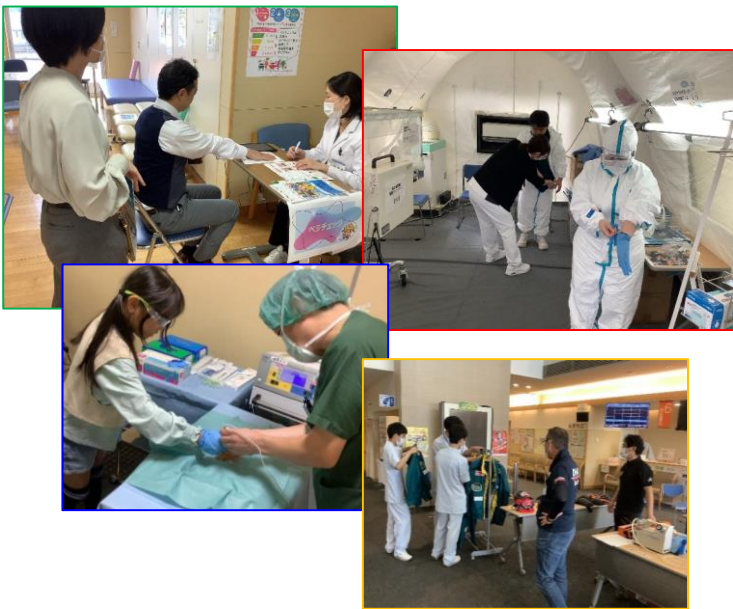
～のぞいてみよう 医療の世界～

コロナ禍から6年ぶりに病院祭を開催しました(寒川祭との同日開催)

10月25日(土)、「さぬき市民病院祭 2025」を開催しました。

寒川祭と同日に開催し、259名の地域住民の皆様にご来院いただきました。

各種健康測定の実施をはじめ、感染対策に伴う個人防護具の試着体験や災害医療に関連した展示物の見学など様々な病院スタッフが体験型のブースなどを設置し、ご来院の皆様にご紹介しました。



病院長による基調講演、災害医療に関する講演、〇×クイズやウインドシンフォニーサクソフォン四重奏の開催

病院長による基調講演や、災害医療に関する講演を開催しました。

また、地域医療部によるご来院者参加型の〇×クイズの実施や有志によるウインドシンフォニーサクソフォン四重奏の演奏も行われ、癒しの音色が響き渡りましたを開催しました。多くの来院者にご参加いただき、大いに盛り上がりました。



病院長の基調講演



サクソフォン四重奏



〇×クイズ



災害医療関連の講演

様々な団体の皆さんと協働させていただきました

病院祭では、藤井学園寒川高等学校看護科の学生さんによるブース設置により、血圧測定の提供等が行われました。

キッチンカーによる飲食販売にもご協力いただきました。

また、地元行事である「寒川祭」との同日開催とし、地域住民の皆様にご足を運んでいただきやすい環境を考えました。



サッキーも参加しました！！

地域とつながる取り組み

当院の正面玄関前においてボランティアによるプランタの植替えが行われました

11月7日(金)、当院の正面玄関前において、クローバーの会の皆様とさぬき市立寒川小学校及び香川県立石田高等学校の生徒さん約40名が、正面駐車場周辺に設置いただいているプランタの花の植替えを行っていただきました。

このプランタは、見る方の心をきっと癒してくれると思います。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました！！



2025 世界糖尿病デー ブルーライトアップを実施しました



11月16日(日)から同月22日(土)までの7日間にわたり、当院の正面玄関周辺にて『2025 世界糖尿病デー ブルーライトアップ』を行いました。

期間中は、約2,000 個のブルーライトを投光しました！

ブルーライトアップを通して、糖尿病について考え、啓発活動の一環となり、予防を含めた取組の一步を踏み出すきっかけとなれば幸いです。



午前の診療受付開始時間が変わります

令和8年3月2日から、試行的に午前の診療受付開始時間を次のとおり見直し、正面玄関の開錠時間も変更となります。ご理解とご協力をお願いします。

受付開始時間 7時30分から ⇒ 8時から 正面玄関開錠時間 7時 ⇒ 7時20分

市民病院のホームページをリニューアルしました

市民病院では、より分かりやすい医療情報を提供するため、令和8年2月に、ホームページをリニューアルしました。

URL : <https://www.city.sanuki.lg.jp/shiminbyoin/index.html>





今月のトピックス Topics

3月3日 ひなまつりについて

じょうし せつく

ひな祭りは「上巳の節句」とも言われ、一般的には、桃の節句とも言われます。ひな祭りの日に昔から作られてきた料理には、女の子の幸せを祈る様々な願いが込められています。

〇ひし餅

緑

厄除け効果があると言われる「よもぎ」を入れることから「健康」を意味しています。

白

白は血圧を下げる効果があると言われる菱の実を入れることから「清浄」を意味しています。

桃

桃色は解毒作用があると言われる「くちなしの実」を入れることから「魔除け」を意味しています。

緑、白、桃色の順に下から重ねることで「大地」「雪」「桃」を表しています。

雪の下には緑が芽吹き、上には桃の花が咲くという春の訪れを祝うとともに、わが子の健やかな成長を願う気持ちが込められています。

うしおじる
〇はまぐりの潮汁

ひな祭りの時期に採れるはまぐりは、対になっている貝がら同士でしか形がぴったりと合わないことから、女の子が将来、良い相手と出会えますように、という願いが込められています。

農林水産省：おいしい和食のはなし。 一部抜粋

今月のレシピ Recipe



いちごムース



材料 一人分

いちご	50g	板ゼラチン	1.5g
レモン汁	2g	生クリーム	8g
砂糖	7g		
牛乳	8g		

作り方

- ① 板ゼラチンは、水(分量外)に浸しておく。
- ② いちごのヘタは除き、きれいに洗い水気を切り、裏ごしにかけ種を取っておく。
- ③ レモン汁・砂糖・牛乳と②をミキサーに入れて混ぜる。
- ④ 絞って十分に水気を切った①を湯せんで溶かし③に加え、よく冷やす。
- ⑤ 生クリームを6分立てにする。
- ⑥ ④と⑤のとろみが同じようになったら混ぜ合わせる。
- ⑦ ⑥を型に流し入れて冷蔵庫で冷やし固める。

※盛り付け用の苺(分量外)はヘタを残して4等分にし、ムースの上に飾る。

